

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|---|--------------|---|--|--|---|------|----------|--------------------|--------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 1 | 教育課程 学習指導 | ①専門性を追究した教育活動を充実させる。 ②商業と工業の連携による特色ある教育活動を実践する。 ③学力及び技術技能の基礎力を確実に定着させる。 ④学習指導方法の改善を推進する。 | ①③基礎学力の定着をはかるとともに、共通教科および専門教科の発展的学習を充実させ、上級の資格取得を推奨。 ④「主体的・対話的で深い学び」の実践。 | ①難易度の高い資格・検定の取得に向けた補習等を行う。 ③基礎的な検定・資格を取得させ、より上位級への挑戦を促す。 | ①技能検定3級・第二種電気工事士・危険物取扱乙種の合格者は前年度より増えたか。 ①日商簿記3級の合格率は前年度より上昇したか。 ③各科で最初に受験する検定の合格率は80%を超えたか。 | | | | | |
| 2 | 生徒指導 ・支援 | ①基本的生活習慣の確立を図る。 ②社会人基礎力と豊かな間性を育む。 ③主体性を育み自立した人間の育成を図る。 ④教育相談体制の充実を図る。 ⑤学校行事や特別活動及び部活動の活性化を図る。 | ①②基本的生活習慣を確立するとともに、自己肯定感を育む。 ④多様な生徒に対応するため、SC及びSSWを活用し外部機関との連携を図るとともに、校内組織の充実。 ⑤部活動加入率の向上。 | ①②継続的な身だしなみ指導、遅刻指導を実施し、社会人としての基礎的資質を身に付けさせる。 ④生徒や保護者に対しSC・SSWの存在を周知徹底し、積極的な活用を図る。 ⑤感染症対策を講じながら、部活動紹介などの内容を充実させ、部活動加入率の回復を目指す。 | ①②身だしなみ指導および遅刻指導の件数が減少したか。 ④カウンセリングによる問題解決件数が増加したか。 ⑤部活動加入率が、前年度を上回ったか。 | | | | | |
| 3 | 進路指導 ・支援 | ①実際の・体験的学習の機会拡大と充実を図る。 ②勤労観や公共心、社会奉仕の精神を涵養する。 ③進路相談体制の充実を図る。 | ①学年段階におけるキャリア教育の充実を図る。 ②進路未決定者ゼロ。 ③進学・就職にかかる事故防止の徹底。 | ①各学年での進路ガイダンスを各学年の状況に応じた適切な内容を工夫しながら実践する。特に、2学年における「インターンシップ」及び「仕事のまなび場」、3学年の「課題研究」及び「ものづくり実践」等でキャリア教育の充実を図る。 ①インターンシップや体験的な活動を通して勤労観や公共心を養い、自分の進路を自分で描き実現しようとする力を育成する。 ②進路に関し、各クラスの進路担当者が、親身になって生徒に接しながら、生徒自身の進路を適切に判断する。 ③すべての点検・作業を必ず複数で行い、生徒の不利益とならないように心がける。 | ①各種進路ガイダンスをとおし、自分の進路を真剣に考える態度が育成されたか。 ①「インターンシップ」及び「仕事のまなび場」への参加者数が、例年に比べ増えたか。 ②進路未決定者をゼロにすることができたか。 ③進路に関わる事故をゼロにすることができたか。 | | | | | |
| 4 | 地域等との 協働 | ①学校運営協議会制度を活用した、地域との協働を図る。 ②広報活動を充実させ情報の発信を推進する。 | ①地域やOB等の外部講師の活用。 ②コンソーシアムの活用。 ③中学生やその保護者に向けたPR活動の充実させ、入学志願者倍率1.1倍を目指す。 | ①②特に3学年での課題研究においての学びにおいて地域やOB、連携企業と協働する。 ③特に近隣中学校教員へのPRを充実させる。 | ①②生徒の学びに地域やOBが関わり、成長を促すことができたか。 ③入学志願者倍率が上昇したか。 | | | | | |

| | 視点 | 4年間の目標 (令和2年度策定) | 1年間の目標 | 取組の内容 | | 校内評価 | | 学校関係者評価 (月 日実施) | 総合評価 (月 日実施) | |
|---|--------------|---|--|--|--|------|----------|--------------------|--------------|-------|
| | | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | 達成状況 | 課題・改善方策等 | | 成果と課題 | 改善方策等 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ①ミッションに沿った学校経営の推進を追究する。 ②安全な学習環境を維持構築する。 ③教育公務員としての規範意識を醸成するとともに、風通しの良い職場環境を構築する。 ④働き方改革の視点に立ち長時間労働の解消に取り組む。 | ①避難訓練の充実及びDIG（災害図上訓練）の実施。 ②スチューデントファーストの視点に立った教育活動。 ③不祥事防止の徹底。 ④職場環境や業務内容を見直し、働き方改革に取り組む。 | ①②避難訓練やDIGの実施及びその内容の充実を図る。また、生徒の安心安全な学習環境の維持構築に努める。 ④グループ会議の形式を見直し、時間の削減および紙の使用の削減を目指し、業務の改善を目指す。 | ①②生徒の安心安全な学習環境の構築が実現できたか。 ④会議時間の前年度比3割減を実現できたか。 | | | | | |